

土曜教室 座談会記録 B グループ テーマ；地震について

7月23日(土)

受講生 : リーエ、リン、レクサナ、リュウ

ボランティア：斉藤（写真）、波多野（司会）、後藤（記録）、井尻（記録）、新井

<概要>

一人ひとり自己紹介した後、司会者が事前にお知らせしていた質問①～⑤を受講生およびボランティアに投げ掛け、それぞれが自分の体験や意見を自分の言葉で話していった。質問に関連した内容にも議論が発展し、活発な座談会となった。受講生全員は、座談会を通して得るものがあったようで有意義な座談会型学習となった。

<質問①：皆さんの国には、地震がありますか？>

波多野さん	日本は太平洋プレートやフィリピンプレート等多くのプレートがあり、地震が起こりやすいです。皆さんの国ではどうですか？地震はありますか
レクサナさん	ある。
リンさん	ある
リーエさん	ある。
リュウさん	ほとんどない。中国の地域によって、地震が発生する場所としない場所がある。

<質問②：日本で初めて地震を経験したときの事を話して下さい。>

レクサナさん	覚えていない。何回も経験しすぎて、初めての地震を覚えていない。
リンさん	仕事しているとき。自分の部屋で在宅勤務しているとき。椅子が揺れた。最初、お化けかと思った。でも、思い直して、日本なので地震だと思った。地震が3度とか、4度くらいだったと思う。
後藤	震度のことを言うときは、3度、4度とは言わずに、震度3とか、震度4とか、最初に震度を言ってその後に数字を言うのが普通です。今度言うとき、気にして見てください。。
リーエさん	夜、スマホをいじっているときに起こった。あまり大きくなかったので、特に何もせずそのままだった。
新井さん	震度3とか4だったら慌てない。少し大きいなと思ったらお風呂とかに水をためる。トイレや飲み水として使用する。 東日本大震災の時は電車の中で三鷹にいた。帰宅は八時くらいになった。三鷹駅から立川の家まで歩いて帰った。
井尻さん	初めての地震は覚えていない。東日本大震災のときは大阪にいた。東京が大変だと思ったので、東京の友達に物資を送った。
リュウさん	来日一年目のときに仕事中に地震を体験した。あまり大きくなかった。でも、初めての地震だったので、机の下に隠れようとしたけれど、職場の同僚はみんなそのまま座っていたので驚いた。

<質問③：地震が来たとき、最初に何をしますか？しましたか？>

レクサナさん	テレビを点けてニュースを見る。インターネットで調べる。などをやります。日本語でよくわからないけど、とりあえず見てる。
井尻さん	3.11以降に「既読」機能が出来たようです。安否確認ができるように。
リンさん	スマホのアプリ (Yahoo) 防災速報で震度を調べて。震度3、4くらいだとそのまま仕事をする。それ以上大きい場合は机の下に潜る。
リーエさん	まず彼女の安全確認する。今までは大きな地震ではなかったなので、いつも連絡が取れている。
井尻さん	小学校の時、避難訓練をしたときに守らないとおいけない「おはし」という掟 (おきて) があった。 お：おさない は：はしらない し：しゃべらない。
後藤	私のところでは「おかし」だった。 お：おさない か：かけない し：しゃべらない。 「おはし」と意味は一緒ですね。
井尻さん	防災訓練というのもあるって、防災頭巾というもので頭を守って非難するというのもあった。防災頭巾は学校でいつも椅子の後ろにつけて置き、すぐにかぶれるようにしていた。
リーエさん	防災頭巾とはヘルメットみたいなものですか？
後藤	はい、そうですね。(ネットに出ている「防災頭巾」を紹介した。)
リーエさん	中国でも避難訓練はあったがあまり真剣にやっていなかった。どちらかというと、勉強しなくても良い時間だったので、遊び感覚だった。
レクサナさん	フィリピンでも防災訓練はあるけど、あまり真剣にやらなかった。
波多野さん	それぞれの国では防災訓練の回数はどれくらいありましたか？
リーエさん	1年に一回とか2年に一回くらいだった。 2008年の四川大震災があった。10万人くらいの死者が出た。
リュウさん	中国の河南省にいたときは避難訓練は一度もなかった。震度1程度の地震もなかった。
リーエさん	東日本大震災の震度はどれくらいでしたか？
後藤	震度7です。私は会社にいたのですが、建物が免震構造だったので、とても揺れました。さすがに、その時は全員机の下にもぐりました。
受講生	めんしん？
ボランティア	免震という字をそれぞれ隣にいるボランティアが受講生に教えた。
波多野さん	免震とは、建物に直接揺れを伝えない構造のことを言います。他にも、制震というのもあるって、揺れ自体を吸収するという構造もあります。

<質問④：地震の時、SNSには母語の情報がありますか？>

レクサナさん	フィリピンでは Facebook です。
リンさん	ベトナムでも Facebook です。
リーエさん、リュウさん	中国では WEIBO です。
井尻さん	日本ではツイッターです。
レクサナさん	フィリピンでは Yahoo を使うこともある。早いです。
リンさん	ベトナムでは、前は Yahoo はあったけど、今はなくなった。

<質問⑤：地震を理由に、国に帰りたと思ったことはありますか？>

リュウさん	ありました。2040年までに大きな地震が起こる確率を見たときには、国に帰った方がいいかなと思った。
リーエさん、リンさん、レクサナさん	ありません。
後藤	日本では南海トラフ地震という大きい地震が来る確立が30年間で7-0%とかそれくらいあるということが言われています。
波多野さん	そのほかにも首都直下型地震とかもあります。
新井さん	そういう地震に備えて、日本では水とか食べ物とかを非常食として備蓄しておきます。
リーエさん	どれくらいですか？
後藤	大体3日くらい分だと思います。最初の3日間とかはいろんな物資とかが届かないので、その間は自力で生活できるようにしましょうというものです。3日位すると行政が物資とかを配給するようになるので。
リーエさん	私は賞味期限がかなり長い水を備蓄している。
波多野さん	どのくらいですか？
リーエさん	大体10年くらい

<感想>

レクサナさん	地震体験を一度試したいと思いました。AEDを体験したいと思った。非常食の準備などもしないといけないなと思った。
リンさん	楽しかった。今まで震度3くらいしか体験したことなかった。大きな地震が来るかもしれないのを知って、備蓄なども必要だと思った。
リーエさん	帰ったら非常食の購入をすぐにしようと思った。あと、水をためることなど勉強になった。。
リュウさん	いろいろ聞いて勉強になった。非常食などについても。AED、地震体験などでもしたいと思った。

以上